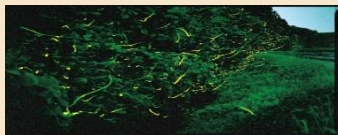


19 奥州の歴史とロマンにふれるみち

宮城県観光政策課
公園管理班
Tel : 022-211-2821

コースの見どころ



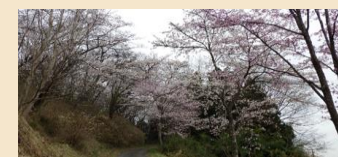
①源氏蛍

清流と澄んだ空気がないと生きられない源氏蛍は、栗原市金成が息の北限です。6月下旬から7月上旬にかけてが見頃です。



②姉齒の松

伊勢物語などの平安朝物語文学で、みちのくの歌枕として知られる姉齒の松。芭蕉の「奥の細道」にも記述が見られる名木です。



③金成沢辺臥牛館公園

三迫川の河畔にある公園。桜の名所としても知られ、地域の人々に親しまれています。鎌倉時代、奥州総奉行葛西清重の居館であった沢辺館跡も近くにあります。



④白山神社

神亀元年（724年）の創祀と伝えられる由緒ある神社。鎌倉幕府誕生直前には、源頼朝が奥州藤原氏を討つ際に、戦勝の祈願をしたとも伝えられています。



⑤小迫観音

奥州七観音のひとつ。延暦23年（804年）、坂上田村麻呂が奥州平定の際に白山神社に戦勝を祈願し、その帰途、勝利の奉賛として観音堂を建立したといわれています。



⑥栗原市金成歴史民俗資料館（旧金成小学校校舎）

縄文時代から現代までの町の歴史・文化財を収集・展示した施設。明治20年に建築され、平面構成として中廊下を採用している宮城県内では唯一の遺構となっています。



⑦金成ハリストス正教会

明治元年、函館でロシアの宣教師・ニコライから洗礼を受け布教に努めた栗原市金成出身の医師・酒井篤礼の遺志を受け継いで建てられた教会です。

コースマップ



※環境省のホームページを經由し、Googleマップ上に東北自然歩道のルートを反映させることができます。
（『環境省 東北自然歩道』で検索）

コース紹介

旧沢辺駅前から金成中町までの6.8km

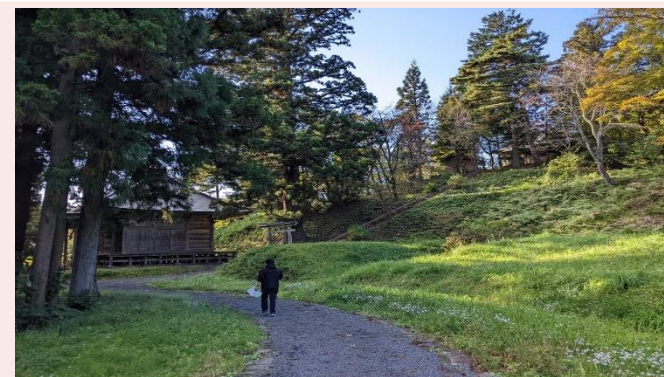
神亀元年（724年）創祀と伝えられ、由緒ある白山神社、宮城県の指定有形文化財に登録されている、明治20年（1887年）につくられた旧金成小学校の校舎、鐘楼の高さ7mを誇る金成ハリストス正教会など、コースの周辺は歴史を伝える建築物の宝庫。文化の薫る道です。

交通アクセス

東北自動車道若柳・金成ICから車で約5分

ルートガイド

旧沢辺駅→1.5km→姉齒の松分岐点→0.2km→姉齒の松→0.2km→姉齒の松分岐点→1.5km→臥牛館公園分岐点→0.3km→臥牛館公園→0.3km→臥牛館公園分岐点→2.0km→白山神社分岐点→0.2km→白山神社→0.2km→白山神社分岐点→0.7km→歴史資料館→0.3km→日枝神社→0.1km→金成中町



問い合わせ先

栗原市商工観光部田園観光課 0228-22-1151